



## みんなの力で安全安心なまちへ 柳川市・みやま市暴力団追放総決起大会

柳川市・みやま市暴力団追放総決起大会を、1月26日、市民会館で開催しました。同大会は、平成21年1月20日に西鉄柳川駅前で暴力団組長を狙った銃撃事件をきっかけに始められ、今年で5回目。今回は佐賀県武雄市の病院で暴力団関係者と間違えられ、夫を射殺された宮元篤紀さんの講演がありました。宮元さんは、夫を亡くした自分の体験を元に、身近に暴力団がいる危険性などを涙ながらに約1200人の参加者に訴えました。



## 会場一面に極彩色のさげもん 婦人会とシルバーが「さげもん展示即売会」

ひな祭りシーズンを前に1月26日と27日の2日間、さげもんの展示即売会がありました。会場となった市民体育館のサブアリーナには、市婦人会と市シルバー人材センターの会員が作ったさげもんが所狭しと下され、華やかな雰囲気に包まれました。即売会には、子どもや孫の初節句に、気に入ったさげもんを飾ろうと、開場と同時にたくさんの人が来場。色とりどりのさげもんを見比べながら、どれにするか迷っている人の姿も見受けられました。



消防団員と消防本部職員が本番さながらに訓練を実施

## 文化財を火災から守ろう 三柱神社で文化財火災想定訓練

1月26日の文化財防火デーにちなみ、1月27日、三柱神社で火災想定訓練が行われました。訓練は、参拝者が同神社本殿から出火を発見し、初期消火に失敗したため延焼拡大中という想定で行われました。第1、第16、第19分団の消防団員と市消防本部職員が、素早く火元までホースをつないで消火にあたりました。その後、同神社の神職と地元住民が消火器の取り扱い訓練に参加し、文化財への愛護精神と防災への意識を高めました。

## 元プロ選手らからの手ほどきに感激

### 柳川商工会議所青年部「少年野球教室」

柳川商工会議所青年部は1月20日、少年野球教室を市民三橋グラウンドで初めて開催しました。柳川と大川の9つの少年野球チームなどから約130人が参加。ソフトバンクホークスの選手だった柴原洋さん、浜名千広さんら元プロ野球選手と、ソフトバンクホークスの福田秀平外野手の6人の豪華講師陣が、ポジション別に野球少年たちを指導しました。矢ヶ部少年野球クラブの藤生祐麻くん(矢ヶ部小6年)は、「プロを経験した選手たちに教えてもらえてうれしかった」と笑顔で話しました。



**◆選者の句**

俳句を募集しています。選句者は大曲鬼郎さん。3月の課題は「妻踏」「木の芽」です。入選作品は3月15日号に掲載します。

**応募方法**

俳句と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句)または直接、柳川市企画課広報広聴係(☎77-8425、FAX5520)へ、2月28日(※必着)までにお送りください。

**◆選者の句**

【句評】虚子先生の句に「鳴くたびに枝踏みゆるゝ寒鶲」がある。中七に寒鶲の姿がうまくこめられ楽しい句になつていて。俊郎さんの句。日暮れの寺町風景。どこからとなく集まつくる寒鶲の騒ぎと、ふんに悩む人々の複雑な思いを内に秘めた句。中七に「我が物顔」と述べ、暗いイメージを表に出さなかつたところが、作者の人柄でもあるうか。

**臘梅の香り波うつ冠木門**

鬼郎

**俳句**

寺町を我が物顔に寒鶲

子育て、警戒とかぬ寒鶲  
蠟梅の輝き放つつややかさ  
あでやかに咲いてろう梅において  
菓子袋くわえ空飛ぶ寒鶲  
臘梅や黄色い花に雪の舞ふ  
寒鶲何を漁るの麦畑  
臘梅の黄色が庭をひきたてる  
かあかあと哀れを誘ふ寒鶲  
臘梅の今が見頃と匂い立つ  
おどおどと袋ついたばむ寒鶲  
臘梅の匂ひおほらか垣根ごし  
日暮時おやどに帰る寒鶲  
早朝に生ごみ漁る寒鶲  
蠟梅の香る日だまり針仕事  
それすれに頭上かすめし寒鶲  
寒からす所せましとび回る  
臘梅の主役となりし花市場  
一列に肩を寄せ合ひ寒鶲

森 フチエ  
山田美代子 (弥四郎町)  
小柳エツ子 (下宮永町)  
中原由美子 (中島)  
田中清美 (百町)  
高崎登美雄 (中島)  
野口美恵子 (上宮永町)  
坂田信幸 (隅町)  
池田美幸 (佃町)  
藤吉トシ子 (佃町)  
武藤博文 (上宮永町)  
中原由美子 (百町)  
山田美代子 (下宮永町)  
後藤正毅 (間)  
江口和子 (豊原)  
田中位緒枝 (今古賀)  
大城靖子 (鷹ノ尾)  
高橋登美雄 (間)  
吉原 (西浜武)  
原田アツ子 (栄)

古賀俊郎(新外町)

今月の入選作品・課題「臘梅」「寒鶲」



## 8の字に回って厄払いしたよ 両開下八丁地区「龍神宮わら大人形祭」

2月1日、両開の下八丁地区にある龍神宮で恒例のわら大人形祭が開かれました。この行事は、今から約170年前にこの地域で疫病が流行し、祈禱師が病気を大人形にうつして海に流すと治ると言ったことが始まり。祭り当日の午前中に高さ約2.5mの男女の大形をわらで作り、神社の鳥居に設置し、午後から神事が行われました。この日、両開小学校3年生の児童18人が、地元の伝統行事を学ぶ社会科の授業の一環で参加。地元の人たちと、大人形の周りを8の字に回って厄をうつしました。